

令和5年10月6日14時00分
近畿地方整備局
淀川河川事務所

淀川資料館秋期企画展示 10月11日（水）～
「淀川下流域の舟運－歴史と名所－」を開催します

2025年大阪・関西万博を契機に、淀川舟運の復活により「水都・大阪」及び京都府域を含む淀川沿川地域の魅力を世界に発信すべく、淀川舟運の更なる活性化に向けた取組を進めております。今回、淀川舟運がつなぐ、歴史と名所の魅力再発見を目的として「淀川下流域の舟運－歴史と名所－」を開催します。

今回の展示では、淀川下流域の舟運の歴史や重要文化財指定されている毛馬第一閘門などの名所・江戸時代に安治川開削を行った河村瑞賢の紀功碑などの石碑について所蔵資料やパネル等で紹介します。

1. 開催期間 令和5年10月11日（水）～11月25日（土） 午前10時～午後4時
10月15日（日）、21日（土）、11月3日（祝）、18日（土）、
19日（日）、23日（祝）は休館
2. 開催場所 淀川資料館（枚方市新町2丁目2-13）
京阪電車「枚方市駅」から徒歩7分
※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
3. 入館料 無料
4. 注意事項
新型コロナウイルス感染状況によって、開館日・閉館日が変更になる場合があります。
発熱や咳が出るなど、体調がすぐれない方は、ご来館をお控えください。

<取扱い> _____

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、枚方記者クラブ

<問合せ先> 近畿地方整備局 淀川河川事務所
副 所 長 伊藤 昌資（内線204）
河川環境課長 椿 善光（内線361）
電話 072-843-2861（代表） F A X 072-843-0915

淀川下流域の 舟運

歴史と名所



伝法第二閘門全景

2023年 10月11日(水) — 11月25日(土)

淀川舟運の歴史といえば、江戸期の八軒家～伏見間をつなぐ三十石船が有名ですが、船が河口から川に入るには下流域の安定した港や航路が必要でした。このため、明治期には外国人技師による大阪築港や航路計画、新淀川下流部の閘門建設などが行われました。今回の展示では、淀川下流域の舟運の歴史や名所・石碑について所蔵資料やパネル等で紹介します。

Yodogawa Museum

淀川資料館

開館時間 10:00 ~ 16:00

休館日 祝日、毎月第3土曜日、第3日曜日

☎ (072) 846-7131

〒573-1191 枚方市新町 2-2-13 枚方市駅から徒歩7分

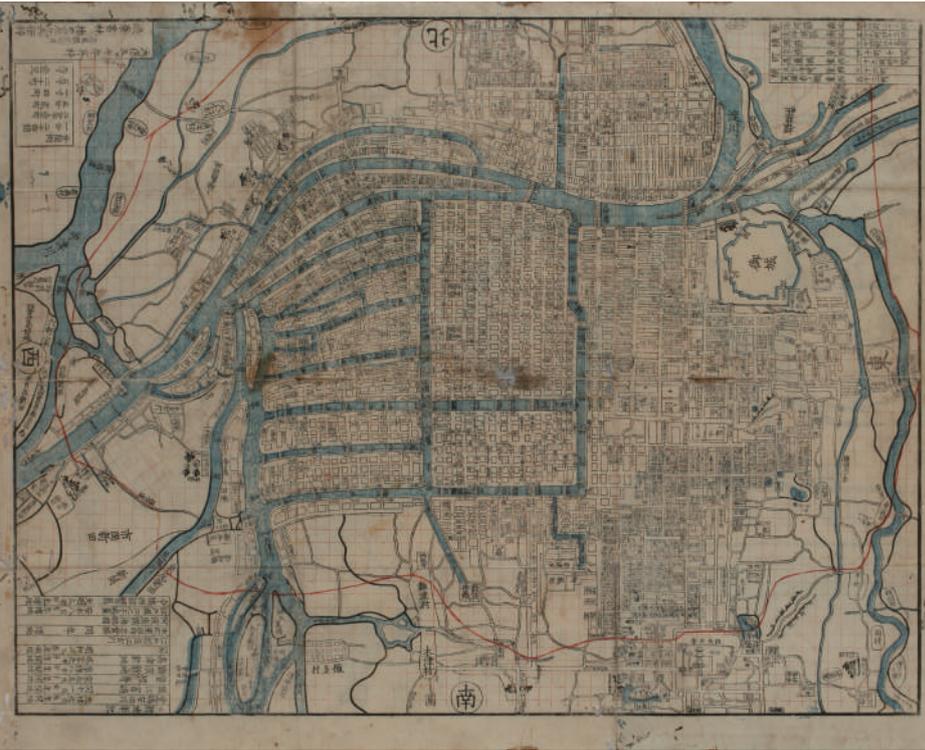
※新型コロナウイルス感染状況によって、開館日・閉館時間が変更になる場合があります。最新の情報はHPをご覧ください。

<https://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/shisetu/yodo-museum/index.html>



淀川下流域の 舟運

— 歴史と名所 —
2023年10月11日 ◆ — 11月25日 ◆



増修 大坂指掌図



第十九号 外国人居留地近傍内築図



淀川筋図 自伏見豊後橋至大坂安治川伝法尼崎之川口



毛馬第一閘門工事中の状況



完成した毛馬第二閘門と船溜まり



從天神橋至安治河口實測三千分個之一縮図 則以曲尺式寸為一百間、乃至志間者六尺也



六軒屋第一閘門扉取り替え